

Written by
Dr. NANASAWA, Hisako
[My husband]



七沢賢治

(株)七沢研究所 代表取締役社長
(株)ロゴストロン研究所 代表取締役社長
一般社団法人白川学館 代表理事
(2017 年当時)

Dr. NANASAWA, Kenji
the leading expert in kotodama studies
The President of The Nanasawa
Institute, Inc.

ななさわ けんじ

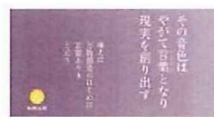
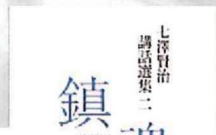
1947 年生まれ。早稲田大学社会科学部卒業。大正大学大学院文学研究科(宗教学専攻)博士課程修了。言語エネルギー発生装置のクイント・エッセンス・システム開発者。知識の模式化(ナレッジモデリング)を土台とした情報処理システムの開発者。白川伯王家に古代から伝えられてきた宮中祭祀の伝承者。

【主な著書】

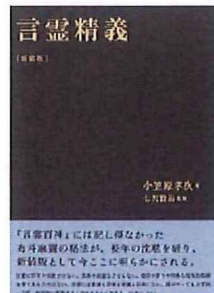
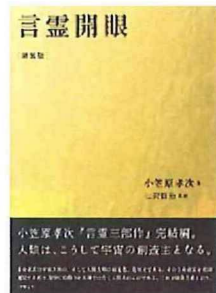
『2020 年「新世界システム実現」のための言霊設計学』(ヒカルランド)、『なぜ、日本人はうまくいくのか? 日本語と日本文化に内在された知識模式化技術』(文芸社、2012 年)、監修に、言霊学会 編『言霊学事始』、小笠原孝次著『言霊百神』など。

言霊学の第一人者 夫・七沢賢治からの学び

● 文・七沢久子



七沢賢治講義と選集『祓い』『鎮魂』『言霊』(和器出版)



言霊三部作『言霊精義』『言霊百神』『言霊開眼』
小笠原孝次 著／七沢賢治 監修 (和器出版)



『言霊設計学』七沢賢治 著
(ヒカルランド)



『言霊学事始』言霊学会 編
七沢賢治 監修
(和器出版)

健康長寿社会を支える歯科医療
～健口で食べる楽しみ、いつまでも～

主催 (主) 愛知県歯科医師会
共催 (主) 愛知県歯科技工士会
(副) 愛知県歯科衛生士会
東海歯科用品商協同組合

		2月20日(土)	
2階	12:00~12:15	受付・登録	
2階	12:15~12:30	愛知県歯科医学大会 第39回中部日本デンタルショー ワークショップ 「愛知歯科医会協会 「株主」コーナー」「パナマ入籍写真による魅力」 「愛知歯科医会協会の活動」	
1階	12:30~12:45	デブカット ワークショップ 「株主」コーナー「パナマ入籍写真による魅力」 「愛知歯科医会協会の活動」	

ことばに宿る神秘
日本の古事記百神

未来に向け「隗より始めよ」

新年のお喜びを申し上げます

The New Year special interview
The Mystery of “The Kotodama Studies”
The weekly “Nippon Shika Shinbun (Japan Dental News Press Co., Ltd.) ” January 1, 2016.

	日常的表现	自传的表现	典型语
喜	・○○○よかったね・持らしい ・お母さんを喜ばそう ・思ひ笑いがいい ・うしろしめ・気持ちがいい ・十分、十分にできたね・得意 ・申し分ない・心持よく ・大勢がり・気持ちがいい ・ありがたい ・喜(喜)める・感	・嬉(喜)びが ・興味が広い ・口元がほころぶ ・拍手喝采	・さんさん にんまり すき まげ きばばば にこにこ
安	・くつろぐ・落ち着き払う ・へいちゃん・大丈夫・平気 ・びくともなし ・嵐(い)わのよう ・軽なる・笑を楽にして	・手足を伸ばす ・鼻歌交じり	ゆっくり
好	・かめがいらしい・好きがい ・思ひ出す(した)	・興計あらず	くにかくにや みわねわ

[illegible]

感覚 → 恒常性 → 自覚
 自覚 → バランス → 自覚
 思 → 道 → 善
 悲 → 賢 → 善
 嫌 → 効 → 好
 善 → 信 → 楽
 不伏 → 信 → 快
 得意 → 信 → さわるか
 神経性 → 交感神経 → 弱質 → 副交感神経

中 技師あるには、今更口
 中 技師あるには、今更口
 中 技師あるには、今更口

[illegible]

「喜」、「好」、「安」で
情緒が安定する

なぜ暗い「防人の歌」が
万葉集に入っているのか

音楽が、意志を実現することのできる言葉の力のなかのどれかは、「より明るくより力強く言葉を発した」ものが良いように見える。しかし、歴史的には、古代中国が国家意識を醸成して伝承した『万葉集』に収められている「防人の歌」には、意外なほど暗い歌が多い。

『万葉集』は音楽の宝庫とされるが、単にポジティブな音楽を意味なく並べたもののが音楽生かす方法などではなく、歌によって鎮魂を行い、魂を復活に導く目的のな所作が込められていると解釈しよう。「防人の歌」はその一例とせう。

「ありがとう」は有り難い
＝めったにないこと

英国がインドを支配していたころ、「Thank You」の言葉は使われなかった。人に何か良いことをした場合、それに感謝の言葉を述べると、自分にも相手にもカルマ(業)を積ませてしまうことになるからだ。相手に直接感謝の念を伝える欧州語の形態は、基督教的にはむしろ少数派と見られるところである。

日本語では「ありがとう」という固有表現を用いる。これは、客観的に「めったにないことだ」と相手に伝えているに過ぎず、カルマを積ませることもない。

[illegible]